

1 問い

今後10年、20年、30年先の鞍手町の未来像は

町長

官民一緒になって今後作って行かなければいけない

問い

問い

大規模な開発等が鞍手町に来るようなことがあれば総合計画を見直し2040年には人口2万人、2万5千人になるような鞍手町にと思うが

町長

社人研の人口動態調査では2040年には人口が減って、福岡県でもワースタワンのデータが出ておりましたが、机上のデータだと私は思っております。

25

今現在、民間レベル、そして我々行政レベルで開発を手掛けようとしており、ここ6、7年以内には花が咲いて来れば人口の下げ止まり、そして人口が逆に回復して来るの

ではないかと考えております。教育もそうですが、一つは雇用ですね。若い方の雇用を生み出す場がないから出て行かれるのが大きい原因ではと考えております。子育ての支援型住宅、これは官民一緒になって今後作って行かなければいけない、またインター横の開発は順調に進んでおり開発が進んで行った場合に、新幹線筑豊駅なども不可能ではないと考えております。

院を作って欲しいと思いますが

という思いで前向きに、行政の方でも後押しをしている状況化であります。

町長

くらべて病院は、平成25年の4月から独立行政法人化にし独立しております。運営は運営委員会によって計画がなされておられ、本来私がここでどうします、こうしますと言うのは本当は独立性を重んじると如何なものかなとそのように思っております。設置者は鞍手町になっております。鞍手町の代表として言えることは、医療は日進月歩であります。町民の皆さんに最新の高度医療をやりたい、それからホスピタリティにとんだ接遇を望んでおります。ワンストップ、つまり鞍手町に来れば医療面で全て賄える病院を目指して行きたいと考えております。当然病院を建てるにあたってはより良いものを建てたい

問い

くらべて病院の現在から未来は

こんな小さな町で60何億も掛けて病院を新築しようとかはまずあり得ない。それを過疎債を使って建てようとしているのですから、皆さんが一致団結し協力をし良い病

院を建てるにあたってはより良いものを建てたい